



今回のテーマは

## 胸部ヘリカルCT検査

です。

2016年の厚生労働省人口動態統計によると、がんの中で1年間に死亡する人数が1番多いのが**肺がん**です。しかし、他のがんと同様に早期発見、早期治療をすることで”治る”確率が高くなるといわれています。症状のないときに、検診を受けて早めにがんを見つけることが非常に重要です。肺がんの早期発見に役立つ検査が**胸部ヘリカルCT検査**です

### 【胸部ヘリカルCT (Computed Tomography) 検査とは】

コンピューター画像診断 (CT) によって、胸部を輪切り状の画像にして診断します。ヘリカルとは、らせん状に切れ目なく連続回転して撮影していく方式です。

### 【検査でわかること】

胸部 X 線検査は、病変が 20mm 以上の大きさにならないと発見することが難しいですが、ヘリカル CT では **5mm 程度の病変**を見つけることが期待できます。**肺がん**や**肺気腫**、**肺炎**、**気管支炎**などの早期発見が可能です。デメリットは、X 線被曝が通常の X 線検査より高い点です。

右の2枚の写真は同じ肺がんの病変です。上は X 線検査の画像 (**赤い○印**) で、下はヘリカル CT (**緑の○印**) の画像です。早期のがんは、X 線検査では淡く小さな影なので発見しにくいですが、ヘリカル CT は明瞭に描出されるので発見が容易です。

### 【検査方法】

ベッドに横になった状態のままドーム状の機器の中に入って撮影します。数回の息止めが必要ですが、検査は数分で終了します。

### 【検査を受ける時の注意点】

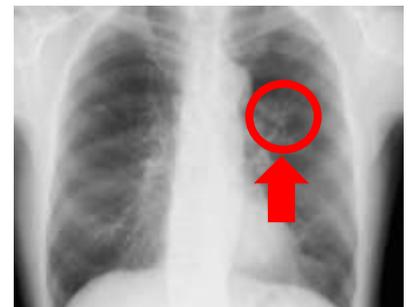
- ◆ペンダントなどの**金属類**がついていると検査画像に写ってしまうため、金属類は取り外していただきます。
- ◆X 線が当たると**心臓ペースメーカー**が誤作動を起こす可能性があるため、事前にお知らせください。
- ◆**妊娠およびその可能性がある方**は、健診の X 線検査は避けた方がいい場合がありますので、必ずお申し出ください。

### 【胸部ヘリカルCTをお受けになるのが望ましい方】

肺がんの主な原因は**喫煙**で、喫煙者の肺がんの危険性は非喫煙者の約**5倍**です。また、受動喫煙 (他人のたばこの煙を吸うこと) により発症する危険性が高まることもわかっています。右の①～④に該当する方はヘリカルCTをお受けになることをおすすめします。



胸部ヘリカルCTの装置



X線検査の画像



ヘリカルCTの画像

- ① 喫煙年数×1日の喫煙本数 (ブリンクマン指数) が400を超えている方
- ② 職場や家庭などで受動喫煙の機会がある方
- ③ 20歳未満から喫煙している方
- ④ 血縁者に肺がん患者がいる方

胸部ヘリカルCTのご案内  
オプション検査: 16,200円 (2018年)



参考資料: 「日本肺癌学会」, 「公益財団法人 神奈川県予防医学協会」  
「国立がん研究センター がん情報サービス」, 「JR 仙台病院」